

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 東大

上場会社名 吉本興業株式会社

コード番号 9665 URL <http://www.yoshimoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大崎 洋

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 溝上 篤史

TEL 03-3209-8302

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	34,931	0.4	2,155	△23.1	2,306	△16.5	669	△11.2
21年3月期第3四半期	34,787	—	2,800	—	2,762	—	754	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	18.21	—
21年3月期第3四半期	20.11	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	58,770	46,182	78.4	1,229.49
21年3月期	61,737	45,090	72.7	1,226.29

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 46,069百万円 21年3月期 44,853百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	47,700	△2.4	4,700	7.8	4,500	11.9	1,950	218.6	52.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務情報等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	39,006,803株	21年3月期	39,006,803株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,536,472株	21年3月期	2,430,332株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	36,773,662株	21年3月期第3四半期	37,502,396株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に一部持ち直しの兆しが見えるものの、雇用・所得環境は依然厳しい状況が続いており、また、企業収益が低調に推移するなど、緩やかな景気持ち直しにとどまっております。

このような経済情勢のもと、当社グループにおきましては、「タレントマネジメントを基盤としたコンテンツ制作会社」として、従来から行ってまいりました事業分野の強化に加え、新たなメディアであるインターネット、携帯電話端末に向けたコンテンツの制作や、海外へも展開しやすいスポーツ分野への進出、映画の製作など、当社グループの発展に不可欠と考えられる事業にも積極的に取り組み、グループ全体で制作能力の強化およびタレントの活躍の場を拡げていくことに注力してまいりました。

この一環として、携帯電話キャリア会社との提携を通じて、携帯電話向けコンテンツ配信から多メディアへと展開する新しいプロジェクトである「S-1バトル」の運営を行ってまいりました。また、昨年4月には「よしもとプリンシアター」をオープンしたほか、一昨年に続き、「LIVE STAND 09」と題したお笑いフェスティバルを、昨年7月に3日間開催いたしました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、劇場において、新型インフルエンザの影響により、団体予約のキャンセルがあり、入場者数が大幅に減少いたしました。一方、当社タレントのテレビ番組への出演ならびにCD・DVD販売につきまして、堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における営業収入は、34,931百万円（前年同期比0.4%増）となりました。また、経常利益は2,306百万円（前年同期比16.5%減）、四半期純利益は669百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は、以下のとおりであります。

#### 制作

当部門におきましては、テレビ番組の制作受託に係る営業収入が前年同期に比べて減少いたしました。

一方、所属タレントの番組出演の増加や、CD・DVD販売が堅調に推移したことに加え、新たなメディアに向けたコンテンツ制作などが好調に推移いたしました。この結果、当部門の営業収入は31,538百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

#### 不動産

当部門におきましては、賃貸用不動産の一部につき、テナントが未入居となっていることから、当部門の営業収入は950百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

#### 事業

当部門におきましては、キャラクターグッズ販売における営業収入が減少したことにより、当部門の営業収入は2,442百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,967百万円（4.8%）減少の58,770百万円となりました。流動資産は現金及び預金の増加、未収還付法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,948百万円（7.4%）減少し、24,513百万円となりました。固定資産は、34,256百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,019百万円（2.9%）減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,060百万円（24.4%）減少の12,587百万円となりました。流動負債は、営業未払金、短期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ3,004百万円（22.4%）減少し、10,394百万円となりました。固定負債は、主に長期借入金、長期預り保証金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,055百万円（32.5%）減少し、2,192百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の部は、当社の持分法適用会社が保有していた当社普通株式が減少したことによる自己株式の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,092百万円（2.4%）増加し、46,182百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は78.4%（前連結会計年度末72.7%）となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、15,616百万円となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に法人税等の還付額、税金等調整前当期純利益、減価償却費および減損損失により増加し、仕入債務の減少および法人税等の支払額等により減少いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、7,903百万円の資金の増加（前年同期比16,388百万円増）となりました。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出および投資有価証券の取得による支出等により減少し、製作委員会投資による収入等により増加いたしました。この

結果、当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、660百万円の資金の減少（前年同期比1,748百万円増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の返済による支出等により、3,762百万円の資金の減少（前年同期比884百万円減）となりました。

### 3．連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は、通期業績予想策定時の見込みに概ね沿ったものであります。従いまして、現時点では平成21年5月15日発表の業績予想と変更はありません。

### 4．その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生の状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法、あるいは前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生の状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法を適用しております。

四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,616	12,435
営業未収入金	6,055	5,940
たな卸資産	1,122	878
その他	1,881	7,345
貸倒引当金	162	139
流動資産合計	24,513	26,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,819	5,958
土地	6,315	6,271
その他(純額)	776	511
有形固定資産合計	12,911	12,742
無形固定資産		
のれん	4,538	4,754
その他	1,857	2,810
無形固定資産合計	6,395	7,564
投資その他の資産		
投資有価証券	8,299	7,969
その他	6,794	7,137
貸倒引当金	144	138
投資その他の資産合計	14,949	14,969
固定資産合計	34,256	35,276
資産合計	58,770	61,737
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	6,230	7,281
短期借入金	-	2,200
未払法人税等	482	13
引当金	239	429
その他	3,442	3,474
流動負債合計	10,394	13,399
固定負債		
長期借入金	-	1,001
退職給付引当金	614	581
役員退職慰労引当金	288	216
長期預り保証金	1,034	1,234
負ののれん	26	30
その他	228	183

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債合計	2,192	3,248
負債合計	12,587	16,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,806	4,806
資本剰余金	14,692	14,219
利益剰余金	28,438	28,042
自己株式	1,771	2,249
株主資本合計	46,166	44,818
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4	70
為替換算調整勘定	92	36
評価・換算差額等合計	96	34
少数株主持分	113	237
純資産合計	46,182	45,090
負債純資産合計	58,770	61,737

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業収入	34,787	34,931
営業原価	28,166	28,871
営業総利益	6,621	6,059
販売費及び一般管理費	3,820	3,904
営業利益	2,800	2,155
営業外収益		
受取利息	18	3
受取配当金	133	97
製作委員会投資運用益	-	337
還付加算金	-	198
その他	87	30
営業外収益合計	239	667
営業外費用		
支払利息	34	33
持分法による投資損失	194	238
支払報酬	-	184
その他	48	59
営業外費用合計	277	515
経常利益	2,762	2,306
特別利益		
関係会社株式売却益	7	103
貸倒引当金戻入額	20	0
その他	1	-
特別利益合計	28	103
特別損失		
固定資産売却損	120	-
固定資産除却損	74	31
減損損失	158	533
投資有価証券評価損	679	522
その他	31	2
特別損失合計	1,064	1,089
税金等調整前四半期純利益	1,726	1,320
法人税等	1,016	675
少数株主損失( )	44	24
四半期純利益	754	669

(第3四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
営業収入	12,563	11,977
営業原価	10,097	9,585
営業総利益	2,465	2,391
販売費及び一般管理費	1,247	1,258
営業利益	1,217	1,133
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	47	38
製作委員会投資運用益	-	242
還付加算金	-	4
その他	4	7
営業外収益合計	54	293
営業外費用		
支払利息	13	5
持分法による投資損失	3	47
支払報酬	-	10
その他	17	27
営業外費用合計	34	91
経常利益	1,237	1,336
特別利益		
関係会社株式売却益	7	-
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	0	-
特別利益合計	8	0
特別損失		
固定資産売却損	120	-
固定資産除却損	19	26
減損損失	1	-
投資有価証券評価損	363	489
その他	11	2
特別損失合計	516	518
税金等調整前四半期純利益	728	818
法人税等	369	573
少数株主利益又は少数株主損失( )	18	1
四半期純利益	377	243



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,726	1,320
減価償却費	1,639	1,543
減損損失	158	533
のれん償却額	209	212
持分法による投資損益(は益)	194	238
退職給付引当金の増減額(は減少)	24	33
賞与引当金の増減額(は減少)	180	218
役員賞与引当金の増減額(は減少)	59	-
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	49	71
返品調整引当金の増減額(は減少)	15	28
受取利息及び受取配当金	151	100
支払利息	34	33
投資有価証券評価損益(は益)	679	522
関係会社株式売却損益(は益)	7	103
製作委員会投資運用損益(は益)	-	337
固定資産除却損	74	31
固定資産売却損益(は益)	120	-
売上債権の増減額(は増加)	661	266
たな卸資産の増減額(は増加)	382	243
仕入債務の増減額(は減少)	30	1,069
その他の流動資産の増減額(は増加)	496	125
その他の固定資産の増減額(は増加)	27	26
その他の流動負債の増減額(は減少)	113	92
その他の固定負債の増減額(は減少)	79	-
預り保証金の増減額(は減少)	548	215
その他	15	62
小計	2,362	2,615
利息及び配当金の受取額	155	101
利息の支払額	29	31
法人税等の支払額	10,973	528
法人税等の還付額	-	5,747
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>8,484</b>	<b>7,903</b>

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	300
有形固定資産の取得による支出	86	734
有形固定資産の売却による収入	-	105
無形固定資産の取得による支出	1,266	680
関係会社株式の取得による支出	157	13
関係会社株式の売却による収入	16	265
投資有価証券の取得による支出	1,362	517
投資有価証券の売却による収入	322	3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	52	-
子会社の清算による収入	54	-
短期貸付けによる支出	101	73
短期貸付金の回収による収入	122	100
製作委員会投資による収入	-	630
投資その他の資産の取得による支出	79	42
その他	78	3
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,409</b>	<b>660</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	3,600	7,200
短期借入金の返済による支出	3,600	10,401
少数株主からの払込みによる収入	4	-
自己株式の取得による支出	1,734	20
配当金の支払額	889	413
少数株主への配当金の支払額	242	86
その他	14	39
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,877</b>	<b>3,762</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額（は減少）</b>	<b>13,770</b>	<b>3,481</b>
現金及び現金同等物の期首残高	23,761	12,135
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	0	-
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>9,989</b>	<b>15,616</b>

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

	制作 (百万円)	不動産 (百万円)	事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,932	279	764	11,977		11,977
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	396	56	500	(500)	
計	10,981	675	821	12,478	(500)	11,977
営業費用	9,512	523	862	10,899	(55)	10,843
営業利益(又は営業損失)	1,468	151	(41)	1,578	(445)	1,133

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	制作 (百万円)	不動産 (百万円)	事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	31,538	950	2,442	34,931		34,931
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	163	1,188	163	1,515	(1,515)	
計	31,702	2,138	2,605	36,446	(1,515)	34,931
営業費用	28,526	1,691	2,752	32,970	(193)	32,776
営業利益(又は営業損失)	3,175	447	(146)	3,476	(1,321)	2,155

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。